

西部療育センターだより	2024年 2月号	福岡市社会福祉事業団 福岡市立西部療育センター TEL883-7161
-------------	--------------	--

今年は梅の開花が早く、春がすぐそこまで来ているを感じさせてくれます。子どもたちは、寒空のもと園庭で思いっきり遊んだり、「福は内」「鬼は外」と大きな声を響かせたりと、元気な姿を見せてくれています。

今月は「1年間のまとめ面談」があります。この1年、お子さんたちは日々の生活や季節の行事を経験する中で様々な姿や成長を見せてくれたと思います。面談では、ご家庭での様子も聞かせていただきながら、保護者の皆さまと職員で、子どもたちの今の姿や今後の大人の関わり方、次の目標について話し合います。お子さんの生活がより豊かになるよう、たくさんのご意見やご提案をよろしくお願ひいたします。



2月は一年の中で一番寒い季節です。毎日のうがいや手洗い、睡眠もしっかりとって、健康に過ごしましょう。

相談係長 迎田 寛子

## <2月の月間予定>



<b>のびのび園</b> (くま・うさぎ・こあら・きりん ぞう・りす・ぱんだ)	<b>のびのび園</b> (ぺんぎん・らいおん)	<b>きらきら園</b> (ひよこ・ことり・はと)
2日(金) 豆まき 5日(月) まとめ面談 (うさぎ・こあら・きりん・ぞう) 16日(金) 誕生会(2月)、視力評価、 避難訓練 19日(月) クラス懇談・保護者会 26日(月) まとめ面談(くま・りす・ぱんだ)	2日(金) 豆まき 16日(金) 誕生会 避難訓練 19日(月) 保護者会  	14日(水) まとめ面談 (ひよこ・ことりC) 15日(木) まとめ面談 (はとC・ひよこ・ことりA) 16日(金) 避難訓練 20日(火) まとめ面談 (はとAB・ひよこ・ことりB)



## 節分について

春が近づいていますが、まだ寒い日が続いています。春の訪れが待ち遠しいですね。

2月と言えば皆さんは何を思い浮かべるでしょうか。2月と言えばバレンタインデーや立春などがありますが、豆まきや節分を思い浮かべる人が多いのではないのでしょうか。今回はその節分についてお話したいと思います。2月3日は節分の日で、「みんなが健康で幸せに過ごせますように」という意味を込めて、悪いものを追い出す日となっています。その邪気祓いとして「鬼はそと、福はうち」と言いながら豆まきをしたり、恵方巻を食べたりします。節分という言葉には「季節を分ける」という意味があり、昔の日本では、春は1年の始まりとされ特に大事にされたようです。そのため、春が始まる前の日(冬と春を分ける日)だけを節分と呼ぶようになったようです。

のびのび園やきらきら園では、季節の行事や日本の文化に親しみを持てるよう、毎年2月が近づくと子どもたちと一緒に鬼のお面や豆入れを作り、2月には豆まきを行っています。豆まきでは鬼に扮した職員が登場すると、怖がる子や鬼に立ち向かい思い切り豆を投げる子、興味津々で鬼に近づいていく子等、様々です。子どもたちの元気な声とパワーで、毎年悪いものを追い出し、たくさんの福が訪れています。今年も1年、節分を通してたくさんの福を呼び込みたいと思います。

ぜひご家庭でも、日本ならではの季節の行事を楽しんでみてくださいね!

保育士 石原 悠夏子

